

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓1590	2088	百日咳	↑1	0
RSウイルス感染症	↑43	33	ヘルパンギーナ	↑2	1
咽頭結膜熱	↓33	45	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓8	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑109	70	急性出血性結膜炎	→0	0
感染性胃腸炎	↑836	826	流行性角結膜炎(はやり目)	↑16	12
水痘	↑104	99	細菌性髄膜炎	→0	0
手足口病	↓24	57	無菌性髄膜炎	→0	0
伝染性紅斑(りんご病)	↓1	3	マイコプラズマ肺炎	↑2	0
突発性発しん	↓27	48	クラミジア肺炎	→0	0

**報告が多い感染症**

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- インフルエンザは、報告数1,590件(前週報告数2,088件)と減少。地区別では、山鹿、天草、菊池に多く報告がみられます。年齢別では、10~14歳の243件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 感染性胃腸炎は、報告数836件(前週報告数826件)と増加。地区別では、山鹿、菊池、人吉に多く報告がみられます。年齢別では、10~14歳の129件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、報告数109件(前週報告数70件)と増加。地区別では、菊池、宇城、八代、天草に多く報告がみられます。年齢別では5歳の18件を最多に幅広い年齢層からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	428	11	11	30	193	42	2		17			2		15			1	
山鹿保健所	102				119	1	2						*	*				
菊池保健所	230	10	12	45	132	6	2		5	1								
阿蘇保健所	27			3	6								*	*				
御船保健所	58				22								*	*				
八代保健所	116	6		8	48	17	5		1									
水俣保健所	48	5		1	21	2						1	*	*				
人吉保健所	107	3		3	69	7						1	*	*				
有明保健所	127	2	4	2	112	13	10	1	2			2		1				
宇城保健所	139	4	5	9	62	7						1	*	*				
天草保健所	208	2	1	8	52	9	3		2		2	1					1	
計	1590	43	33	109	836	104	24	1	27	1	2	8	0	16	0	0	2	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
インフルエンザ	1590	8	24	102	95	100	90	96	91	78	64	70	243	73	69	128	84	60	53	33	29
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	43	7	14	16	6																
咽頭結膜熱	33	1	2	14		2	4	3	4			1			1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	109		2	4	5	14	12	18	15	14	3	1	15	1	5						
感染性胃腸炎	836	6	52	120	86	55	67	53	54	30	27	40	129	33	84						
水痘	104	3	4	21	31	20	15	6	2	1					1						
手足口病	24		3	16	3	2															
伝染性紅斑	1			1																	
突発性発しん	27		11	14	1		1														
百日咳	1	1																			
ヘルパンギーナ	2			1			1														
流行性耳下腺炎	8		2		1	1	2		1			1									
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	16						1		1					2	3	3	2	1	2	1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	2			1														1			
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域

- インフルエンザ : 山鹿、菊池、宇城、天草
- 感染性胃腸炎 : 有明、山鹿、菊池、人吉
- 咽頭結膜熱 : 菊池
- 手足口病 : 有明
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : 菊池

インフルエンザ  
引き続き警戒を!!  
感染性胃腸炎  
再び増加中!!



【インフルエンザ、引き続き警戒を】

今週の報告数は、1,590件と県全体では前週より減少しました。しかし、地域ごとにとみると、御船、人吉地域では前週より報告数が増えたり、また、山鹿、菊池、宇城、天草地域は依然として警戒レベルが続いています。

- ◆インフルエンザを予防するために
  - ①手洗い・うがいを習慣づける
  - ②流行時には人混み避ける
  - ③栄養、休養、睡眠を十分に取る
  - ④部屋の換気と保湿に心がける
- ◆インフルエンザにかかったら
  - ①早めに医療機関を受診し治療を受ける
  - ②学校や職場へは無理して行かない
  - ③水分を十分に補給する
  - ④咳エチケットを心がけ、外出を控える

【感染性胃腸炎は5週連続で再び増加中】

今週の感染性胃腸炎の報告数は、836件で第2週以降5週連続で増加しています。地域別では、有明、山鹿、菊池、人吉が警戒レベルにあります。感染性胃腸炎の原因として、ロタウイルスの報告が増えています。ロタウイルスの主な症状は嘔吐と下痢ですが、ノロウイルスよりも発熱を伴う場合が多く、重症度が高いとされています。様々な原因により何度も感染性胃腸炎にかかることがありますので、引き続き、患者の便や嘔吐物の適正な処理、食事前やトイレの後の手洗いなど、感染予防対策を徹底しましょう。